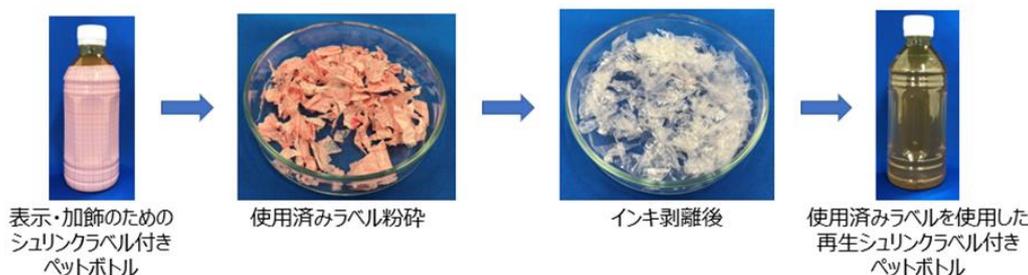


2021年3月29日

## ペットボトルラベルリサイクルの共同実証プロジェクト開始について ～サーキュラーエコノミー推進の取り組みを加速～

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）は、サーキュラーエコノミー（循環型経済）推進に向けた取り組みの一環として、フジシールグループ（本社 大阪府大阪市、社長：岡崎 成子、以下「フジシール」）と共同で、ペットボトルの使用済みシュリンクラベルの再利用に向けた実証プロジェクトを開始いたします。



シュリンクラベルは、ペットボトル容器自体に顔料などを付着させることなく必要な表示や遮光機能などを保持させることができるため、ペットボトルのリサイクル率向上に貢献しております。一方で、ラベルそのものについてはリサイクルの仕組みが確立されておらず、資源循環の観点から対応が求められております。

当社は今般、この社会課題を解決すべく、長年の顧客であり高いシュリンクラベル設計技術を有するフジシールと共に、使用後のシュリンクラベルを新たなシュリンクラベルに再利用する仕組みの共同実証プロジェクトを開始します。2021年春には実証プラントを設置して検証を進め、2022年の社会実装を目指します。

本プロジェクトでは、ラベルが装着されたままのペットボトルから回収されるラベルを対象とします。フジシールのシュリンクラベル設計技術や当社のフィルム設計・製膜技術などを融合することで、使用後のシュリンクラベルから印刷インキを取り除き、新たなシュリンクラベルに再利用するとともに、脱離されたインキの有効活用についても実証検証を行います。

当社は三菱ケミカルホールディングスグループが掲げる中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision 30」のもと、サーキュラーエコノミーの推進をKAITEKI<sup>®</sup>実現のキーエレメントと位置付けており、使用済み製品等のリサイクルはその重要な取り組みの一つと考えています。当社は今後も、取引先等との連携を積極的に進めながら、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ 三菱ケミカルホールディングスグループのオリジナルコンセプトで、「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」を表します。

【本件に関するお問い合わせ】  
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室  
TEL 03-6748-7140